

小鳥の求愛コミュニケーションの行動機構



自然・環境マネジメント研究部 生態研究グループ

太田 菜央

生き物の行動を理解するためには、まず丁寧に観察をすることが必要です。私はルリガシラセイキチョウ（瑠璃頭青輝鳥）という小鳥の求愛行動を研究していますが、主にビデオカメラによる動画データと録音機材による音声データを集めて行動観察をしています。

ルリガシラセイキチョウは歌とダンス（ジャンプ）を組み合わせた求愛行動を行います。彼らの行動を観察をし始めた頃、求愛ジャンプの際にバチバチという非常にはっきりとした音が鳴ることに気づきました（図1）。求愛の時のジャンプには何か音を鳴らすための特殊な動きが含まれているのではないかと予想し、1秒あたり300コマで撮影できるハイスピードカメラ（通常スピードの撮影は1秒30~60コマ程度）での撮影をおこないました。その結果、肉眼では1回ジャンプしたただけに見える動きの中に、高速で2~6回脚を地面に叩きつけるタップダンスのような運動が含まれていることが明らかになりました（図2）。

私は現在、このタップダンスの動きや音、それらと歌との組み合わせが、彼らのコミュニケーションにどのように作用しているのか調べています。

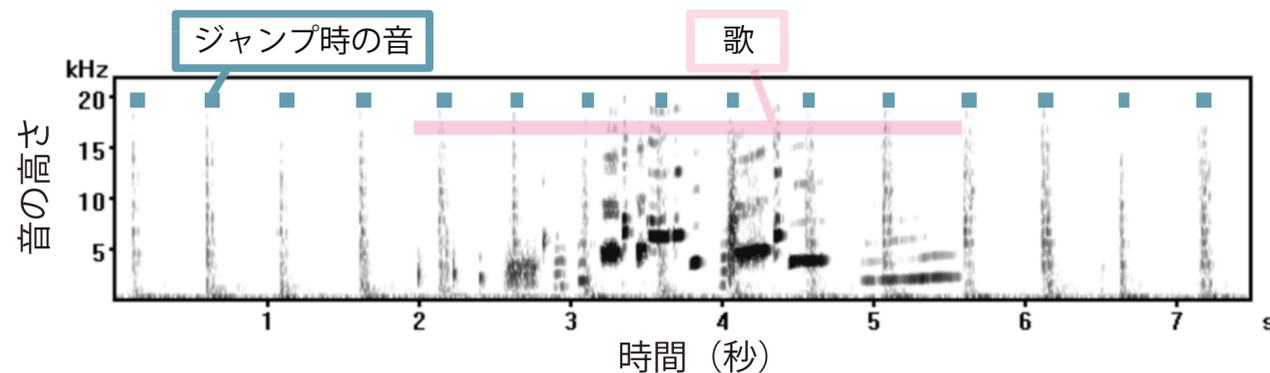


図1. ルリガシラセイキチョウの求愛時に出る音を視覚化したもの
色の濃さは音の大きさを反映している

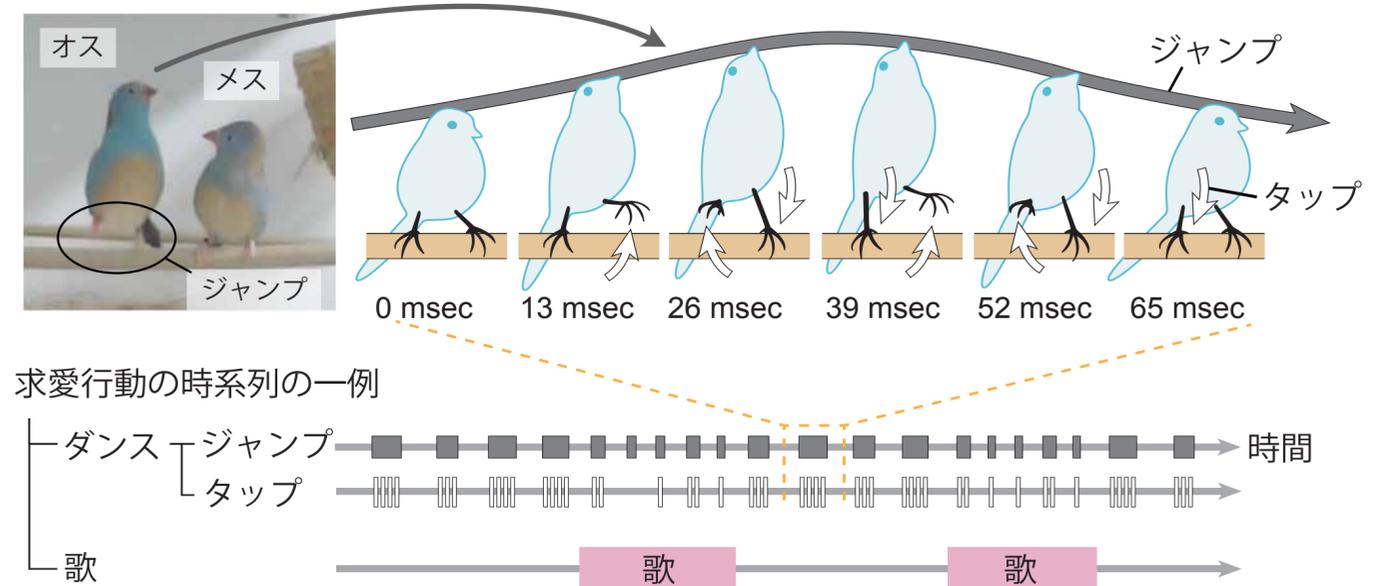


図2. セイキチョウのタップダンス様求愛行動の概要図